

【いちのせきの市民活動情報をお届けします】



idea

- ちょこっと紹介
- ファシリテーション
地域づくり実践塾
 - ① 事務局の実務的な話
 - ② コミュニケーションスキル
- 一関市元気な地域づくり事業
- 未来塾事業予告
- 11月のイベント・ボランティア情報
- 志縁団体紹介
- Point1 事業紹介

idea(アイデア)

いちのせき市民活動センターNewsletter「idea」は市民活動がアイデアを持って NPOと行政や企業、市民との出会い(deai)の機会を創り出す事を目的とした情報誌です。センター情報をはじめ管内の市民活動団体情報や行政情報をお届けします。

センターの「〇〇なう。」はこちらから。⇒



ちょこっと紹介

JT 秋の岩手県内一斉清掃活動

10月9日(土) 11時~12時 一関市大町



「拾うという体験を通じて、捨てない気持ちを育てたい」という願いを込めて、JT(日本たばこ産業)が主催する地域清掃活動。2004年から全国各地の祭事で活動する『ひろえば街が好きになる運動』は有名ですが、イベント時だけでなく定期的な活動として、2007年から岩手県内で地域清掃活動を行っています。

市民や地域の団体も参加し、JTだけでなく地域内のことは、地域のみならず一緒にやる企業スタンスが、CSR活動としての1面が見られます。

年に3回の清掃活動を行っていますが、今回は、今年最後の活動となりました。ゴミ拾いなんだけど、まち歩き・・・。ゴミを拾いながら、普段は何気なく通り過ぎていた所の再発見になったり、新しい発見があったりと、無理しない地域活動の楽しみ方ですね。

今回の清掃活動には、Vivale 一関フットサルクラブの選手も参加し、日ごろの応援の感謝の気持ちを込めてゴミ拾いという時間を地域の人たちと一緒に過ごしました。一関会場の参加者は45人、盛岡230人、北上86人、釜石63人と比べるとちょっと少ないので、来年は、もう少し増えるといいですね。



◆◆◆10月5日(火)【事務局講座】

会場：Point1

「見える化」で「信頼される事務局」へ。

■事務局は扇の「要(かなめ)」

毎月火曜日の夜に開催している「事務局講座」にて、先月に引き続き講師を務めた小玉順子さんは、おおさき地域づくり創造研究会、感覚ミュージアムをはじめとして、数多くの「事務局」の経験を積んでこられた「ファシリテーター」でもあります。

前回の講座で触れた「事務局スキル」と「ファシリテーションスキル」の関係を振り返りながら、「信頼される事務局を目指すにはどうしたらよいか」について、具体的な手段やアイデア、心構えなど、今回の講座でも様々なお話を聴くことができました。参加していただいた受講生のみなさんにも、事務局の持つ重要性や必要なスキルについて納得していただけたのではないのでしょうか。政治家の市川房江さんのお話は事務局の役割をズバリ言い表して納得でした。

■見える化するツール①

小玉さんが紹介したのはたくさんある仕事を少しでも正確に、簡潔にするために必要なもの、「見える化するツール」でした。小玉さんオリジナルの議事録、ワークショップシート、仕事一覧表、などは出席した方限定でデータを差し上げるといった特典付きです。

■「見える化するツール」②

次に小玉さんが紹介したのは、身近にあるものです。ホワイトボード、プロッキー、模造紙、付箋、などのアナロググッズから、卓上スクリーン(プロジェクタ用)、メール、などデジタルグッズまで、アイデア次第で仕事は正確に、簡潔になっていきます。

■お互いのアイデアを学ぼう

後半は、「信頼される事務局」を目指すために、うまくいっている事務局機能について話し合い、具体的な課題とその解決方法を議論しました。仕事内容を分類した「一覧表」を用いて、それぞれの団体が抱える課題を分類することで、課題を整理することにつながります。

■次回の予定

11月5日(火) 19:00~21:00

「地域づくりは人づくり」

講師:若菜 千穂さん

(NPO 法人いわて地域づくり支援センター)



◆◆◆10月23日(土)【ファシリテーション講座】

会場：Point1

体感した「コミュニケーションスキル」とは？

■コミュニケーションを体感しよう

毎月一回、土曜日に開催しているファシリテーション講座の今月のテーマは「コミュニケーションスキル」です。仕事、学校、家庭で毎日行われているにも関わらず、課題を抱えていたり、苦手意識を抱えていたりする人も多いかもしれません。

「体感する」ことに主眼を置いたファシリテーション講座では、様々なワークを通して、コミュニケーションに必要な事に気がつき、自分自身のコミュニケーションスタイルを振り返るなどの取り組みを行いました。必要な事柄を暗記するのではなく、実際に体感できるのがこの講座の一番の魅力です。

■自分を説明する方法

自己紹介をするときに、「何を話そうか・・・」と考えているうちに何を言いたいのかが分からなくなってしまったり、周りの人の自己紹介を聴いていてポイントを聴き逃してしまったりという事が有ります。ここでは自分自身についての説明を自由に紙に書いて、フリップにして紹介をする体験をしました。

中央に置いたボールを取り、自由な順番で発言をすることで、自発的な発言を促します。

■高い塔をつくろう

紙を使って高い塔をつくろうという課題にチームで取り組みました。共通の目標を達成するためにチームで協力する際には、自分の考えを述べる事、相手の考えを聴くこと、など自然にコミュニケーションが行われます。グループごとにアイデアを出し合い、「自立する高い塔」をつくるために必要な事は何なのか、それらについて話し合いました。

■会話はキャッチボール

キャッチボールを取り入れたワークでは、相手にとりやすいボールを投げる、相手のボールをキャッチする、以外にも、それを見ている人が声をかける、などの役割があり、「すべての人がキャッチする」という課題をクリアするためのコミュニケーションを体験しました。

■次回の予定

11月27日(土) 13:00~17:15

「ビジョンの可視化と共有化」

自分のビジョンが曖昧なままだと、他者にそれを伝えることも、共有することも困難に…。どんな地域づくりをしたいのか、それを言葉に置き換えるワークをします。



元気な地域ってどんな地域？

本年度から新たな事業として設けられた「いちのせき元気な地域づくり事業」。この事業は、地域住民と市が創意工夫をしながら特色ある事業を展開し、地域を元気にしようとするものであるが、“一関地域”では、現在、来年度の事業の計画作成を市民と行政が一緒になって検討している。

9月28日から10月26日までの毎週1回、計画を作る会議を開催しているが、事業計画だけに、こんな少ない回数で計画を作ることは、容易なことではない。まして、事業テーマや特定の課題解決に向けた方向性すら無い状態であるから尚更のことである。

まずは、目的の共有から始めることとして、地域の元気とは何か？について話し合った。賑やかなことがイメージされがちな元気であるが、意外や意外、しっかり話をしてみると、「自分の住む地域で、毎日の暮らしを継続的に行うこと」という意見がでた。もちろん賑やかな意見も出たが、賑やかさは、毎日の生活が安定して継続しているからこそあるものと付加価値的な見解になった。

元気コンセンサスのあとは、グループ毎に、自由な討議からの絞るような形で事業分野のテーマを決め、どんな事業になったらいいかを、少ない回数のワークショップで継続的に話し合いを進めているが、詳細までは決められないだろう。今回は、おおまかな事業計画を提案するだけにとどまるだろうが、次年度の事業として、公益性の高い事業を作りたい。

▶行政と市民が一緒に議論するには…

市民を交えて会議をすることは多くなった。計画を作るにも市民が入ることも多くなった。しかし、市民が混じれば良いということではなく、混ざることにより、どんな効果が期待され、期待したいかを考え、市民参画を進めてほしいものである。今回の事業計画についても、招集され、こういう趣旨ですと説明されても、目的が共有できない。目的が共有できないから、そもそも論を論じる時間が長くなり、両者にフラストレーションが溜まることになる。肝心なのは入口。導入部分で、みんなが目的・ゴールを納得していれば、話し合いはスムーズに進む。会議設計は重要である。

2010年、ある仮説に基づき、来て未来んアカデミーを開催します。

その仮説とは「アイデアの出し方は、パズルと同じ…かもしれない」



「パーソナルパワーを高める」
という新たな提案。

I:chinoseki
D:ream
E:njoy
A:ssociation



来て未来んアカデミー
平成22年11月20日(土)~21日(日)
いちのせき健康の森

.....来て未来んアカデミーって、どんなことをしますか？



プラスをプラスにするワーク、マイナスをプラスにするワーク、イベントカUPのワークの3つのワークグループを作り、**アイデアの出し方を学び**、新たな価値を創造する宿泊研修会です。

課題に対する解決策を生み出すための様々なアプローチ方法を学び、**一人ひとりの能力(パーソナルパワー)を高める**とともに、人の繋がりを構築し、地域全体を盛り立てられる基礎を作ります。

企業・行政・NPO 職員のキャリアアップ、参加者一人ひとりの人財力のベースアップを目指します。

ゲストファシリテーターをお迎えし、ワークショップ形式でアイデアの出し方について取り組みます。



募集期間 平成22年10月15日(金)~11月8日(月)

【受講対象者】一関市内に居住もしくは、在勤する20代~40代の方

【定員】30名

【参加費】宿泊費(食事込)5000円 懇親会費1000円

【申込締切】先着順で定員になり次第締め切ります。

【主催】未来塾実行委員会 【後援】一関市(予定)

〒021-0881 一関市大町4-29 いちのせき市民活動センター内 tel&fax 0191-26-6400 e-mail:center-i@tempo.ocn.ne.jp

11月		イベント・ボランティア情報				
日	月	火	水	木	金	土
	1	2 ①	3 ②	4	5 ③	6
7 ④	8	9	10	11	12	13
14 ⑤	15	16	17	18	19	20 ⑥・⑦
21 ⑥	22	23	24	25	26	27 ⑧
28 ⑨	29	30				

No.1 ファシリテーション地域づくり実践塾

主催 いちのせき市民活動センター
 日時 11月2日(火)19時~21時
 場所 Point1(新鮮館おおまち向かい)
 内容 事務局講座
 料金 無料
 電話 0191-26-6400(いちのせき市民活動センター)

No.4 ロボット教室公開講座

主催 一関市少年少女発明クラブ
 日時 11月7日(日)9時30分~15時
 場所 Point1
 内容 一関工専機械工学科の指導が受けられます。
 料金 無料
 電話 0191-26-4928(千葉)

No.2 収穫祭(さつまいも掘り)

主催 どんぐりの会
 日時 11月3日(水)
 場所 上の橋河川敷にて
 持物 軍手・シャベル・ビニール袋・長くつ
 料金 無料
 電話 0191-25-3452(北岡)

No.5 ライン・作品&写真展覧会

主催 NPO法人響生
 日時 平成22年11月14日(日)9時15分~15時
 場所 奥玉公民館 維新館
 内容 9月に開催したワークショップの作品展です。
 料金 無料
 電話 0191-56-2690(杉山)

No.3 WAWAWAWA★コンサート

主催 東山音楽振興会
 日時 11月5日(金)18時30分~
 場所 東山地域交流センター
 内容 タブラ奏者吉見征樹によるユニットの演奏会
 料金 【前売り】2000円 高校生以下 1000円
 【当日】3000円 高校生以下 1500円
 電話 0191-35-1260(東山音楽振興会)

No.6 来て未来んアカデミー

主催 未来塾実行委員会
 日時 11月20日(土)9時30分~21日(日)12時
 場所 いちのせき健康の森
 内容 アイディアの出し方を学ぶ宿泊研修会
 料金 5000円(懇親会 1000円)
 電話 0191-26-6400(未来塾実行委員会)

一関市地域おこし事業

ひびぎ presents アートワークショップ



ライン

～ つなぐ・つながる・つなげる ～



作品 & 写真展覧会

日 時：平成22年11月14日（日） 9:15～15:00

場 所：奥玉公民館 維新館

No.7 地域での暮らしを考える5回連続講座
 主催 一関市社会福祉協議会・一関公民館・いちのせき市民活動センター
 日時 11月20日（土）13時30分～
 場所 一関市総合福祉センター3階大会議室
 内容 自殺、うつ、認知症の講演と国際交流の事例発表
 料金 無料
 電話 0191-23-6020（一関市社会福祉協議会）

No.10 そろばん学習 体験学習会
 主催 NPO 法人全国地域学習振興会
 日時 （土日祝除く）16時～17時
 場所 認定教場 * 小野寺塾指導ネットワーク
 内容 そろばんの体験学習会を行います。
 料金 無料
 電話 0191-23-5798（小野寺）

No.8 ファシリテーション地域づくり実践塾
 主催 いちのせき市民活動センター
 日時 11月27日（土）13時～17時30分
 場所 Point1（新鮮館おおまち向かい）
 内容 ファシリテーション講座
 料金 1000円
 電話 0191-26-6400（いちのせき市民活動センター）

No.11 ECO キャップ回収
 主催 B.R.G（世代にかける橋）
 日時 いつでも回収しています。
 場所 ご家庭、学校、職場で回収してみてください。
 内容 ペットボトルのキャップを回収しています。
 料金 400個集めると10円になります。そのお金で
 ワクチンを購入して、寄付する取り組みです。
 電話 0191-23-9721（橋本）

No.9 しょうがい者乗馬会
 主催 パカポクラブ
 日時 11月28日（日）10時～12時
 場所 佐々木牧場（花泉町金沢字有壁沢 13-1）
 内容 馬と子どもとのふれあいです。ボランティアも募集。
 料金 1000円
 対象 しょうがいをもつこども、馬に興味のある方。
 電話 0191-82-5584（佐々木）

No.12 【その他の回収ボランティア】
 ○書き損じはがき
 ⇒ユネスコ協会を通じ子どもたちへ学用品を購入
 ○使用済み切手
 ⇒一関市社会福祉協議会を通じ車いすを修理・整備
 ○未使用の歯ブラシ
 ⇒歯ブラシが買えず歯を磨けない子どもたちへ寄贈

志縁団体紹介

いわてNPO 職員ネットワーク

「2020年までに地域のために働くNPOという職業が岩手で人気職になる」というミッションのもと、若手NPO職員のネットワーキングによる各職員のスキルアップによる、市民活動全体のマーケットの拡大と、市民が提供する公的サービスの質・量の増加を設立の目的として2009年に発足。

やる気があり、能力のあるNPO職員でも継続した仕事として現職を全うできずにいる状況や雇用に関しての不安等を社会と共有し改善につなげていきたいという思いから、NPO職員の職務実態調査を行います。また、同じ職を持つもの同士のネットワークを構築し、スキルアップのための研修事業、ノウハウの共有を行い、活動レベル、個々のスキルアップを目指します。

NPOで働く職員は、職場内に同僚と呼べる間の人がいなかったり、愚痴をこぼしても理解してもらえないことも多いです。このネットワークを通して、同僚と呼べる仲間と出会い、互いにブラッシュアップできる関係も築けたら、明日の仕事も楽しいはずです。

第1回NPO職員研修会

日時：平成22年11月12日（金）16：00～

会場：きたかみ市民活動情報センター

内容：職務実態調査中間発表

講話「ビジネススキルを磨く」

講師：下山真之さん（ビジネスカウンセラー）

地位、待遇改善へ一歩

いわてNPO職員ネット

雇用実態把握で調査
県内法人対象 結果を情報発信

県内法人（業種別）形態別収入業務別
の若手職員4人を対象とする調査を実施。調査結果は、11月17日午後4時から北上市大通りの市民活動情報センターで発表。調査結果は、11月17日午後4時から北上市大通りの市民活動情報センターで発表。調査結果は、11月17日午後4時から北上市大通りの市民活動情報センターで発表。

低賃金でありながら仕事内容にやりがいを感じている職員が支えてくれると指摘し、地域での仕事を続けられが職業になるシステムをつくるためにも、まずは実情について社会全体との共通理解を深めたいと話している。

Point1 事業紹介

アロマワークショップ



◆◆◆10月9日（土）13時30分～14時30分

■香りをかいてみよう！

Point1で主催する「アロマワークショップ」には12人が参加し、「安全で正しいアロマセラピー」に必要な禁忌や注意事項を学び、4種類の系統の「エッセンシャルオイル」を使用したエアーフレッシュナー製作を体験しました。実際に香りをかいてみたうえで、その香りのもつ作用や効能を理解し、自分が気に入った香料を実際に調合する過程でブレンドのポイントを学びます。

精油の名称を伏せたまま、4種類の香りをかいてももらった後、それぞれ感想を聴くと、「たんすのにおい」「すっきりする」「食欲がでる」など、いろいろな意見が出ました。香りの感じ方には個人差がありましたが、多くの人が柑橘系のオレンジを心地よいと感じたようです。

フレッシュナーの製作体験では、精油を自由にブレンドしましたが、完成したものの香りが「イメージ」と違った人もおり、香りをイメージ通りに作るのは大変なようです。「マッサージオイルも自分で作りたい」「いろいろな精油の効果を知りたい」という意見もあり、アロマセラピーに理解を深めると共に、今後も深く知るために学び、生活に役立てたいという意欲につなげていきます。

いちのせき市民活動センター 月曜日～土曜日 10:00～19:00（祝日・年末年始を除く）

■〒021-0881 岩手県一関市大町4-29 新鮮館おおまち内 ■Tel&Fax:0191-26-6400 ■E-mail:center-i@tempo.ocn.ne.jp